

辺地に係る公共的施設の総合整備計画書

- 1 高尾辺地 （庄原市西城町）
（計画期間：令和 7 年度～令和 10 年度 4 年間）
- 2 小奴可辺地 （庄原市東城町）
（計画期間：令和 7 年度～令和 11 年度 5 年間）
- 3 田森辺地 （庄原市東城町）
（計画期間：令和 7 年度 1 年間）

令和 7 年 3 月
広島県庄原市

総 合 整 備 計 画 書

広島県庄原市西城町 高尾辺地
(辺地の人口 56 人、面積 4.9 k m²)

1 辺地の状況

(1) 辺地を構成する町又は字の名称

庄原市西城町高尾

(2) 辺地の中心の位置

庄原市西城町高尾 218 番地

(3) 辺地度点数

210 点

2 公共的施設の整備を必要とする事情

本地域は、庄原市の中心から東北へ約 31 kmに位置する山村集落で、国道 314 号線と県道油木小奴可線に接続する市道に沿って、細長く形成された集落であり、過疎化の進行により地域活力の停滞が顕著な地域である。

市道槇ヶ峠線は、国道 314 号線へのアクセス道路であり、庄原市街地及び新見市への連絡道路であるが、幅員が狭小で冬期間は積雪も多く地域住民の生活に支障を来している。

地域住民の利便性・安全性を確保し、生活環境と産業基盤の向上を図るため、早急な改良整備が必要である。

3 公共的施設の整備計画

令和 7 年度から令和 10 年度の 4 年間

(単位：千円)

区 分		事 業 費	財 源 内 訳		一般財源のうち ち辺地対策事業債の予定額
施 設 名	事業主体		特定財源	一般財源	
市道・橋りょう (市道槇ヶ峠線)	庄原市	103,700	—	103,700	103,700
合	計	103,700	—	103,700	103,700

総 合 整 備 計 画 書

広島県庄原市東城町 小奴可辺地
(辺地の人口 954 人、面積 86.1 k m²)

1 辺地の状況

(1) 辺地を構成する町又は字の名称

庄原市東城町小奴可、加谷、内堀、塩原、千鳥、小串

(2) 辺地の中心の位置

庄原市東城町小奴可 2658 番地 3

(3) 辺地度点数

167 点

2 公共的施設の整備を必要とする事情

本地域は、市の中心部から北東へ約 35 kmに位置し、北は鳥取県、東は岡山県に接している。平坦地に乏しい急峻な地形に加え、標高 500m以上に集落が点在する山間の農村地域である。

塩原地域においては、東城市街地へ連絡する県道内堀備後八幡（停）線改良事業の進捗が停滞している状況であり、また、一級河川成羽川に沿う市道加谷東線は、狭隘で屈曲部が多いため、車両の離合に支障があり、特に冬季は積雪も多く通行困難となる状況である。

塩原地域と加谷地域を結ぶ集落間連絡道として、市街地等への連絡道を新設することで、地域住民の利便性・安全性を確保し、生活環境と産業基盤の向上を図るため、早急な整備が必要である。

3 公共的施設の整備計画

令和 7 年度から令和 11 年度までの 5 年間

(単位：千円)

区 分		事 業 費	財 源 内 訳		一般財源のうち 辺地対策事業 債の予定額
施 設 名	事業主体		特定財源	一般財源	
市道・橋りょう (市道塩原加谷線)	庄原市	207,800	—	207,800	207,800
合	計	207,800	—	207,800	207,800

総 合 整 備 計 画 書

広島県庄原市東城町 田森辺地
(辺地の人口 481 人、面積 30.3 k m²)

1 辺地の状況

(1) 辺地を構成する町又は字の名称

庄原市東城町栗田、竹森

(2) 辺地の中心の位置

庄原市東城町栗田 1330 番地 2

(3) 辺地度点数

137 点

2 公共的施設の整備を必要とする事情

本地域は、市の中心から東北東へ約 56 km に位置し、東は岡山県に接している。成羽川の支流である栗田川沿いに集落が点在する過疎化の進行が著しい農村地域である。

庄原市立田森保育所は、田森辺地のみならず、隣接する八幡辺地や小奴可辺地等からの児童を受け入れており、地域保育及び乳幼児の健全な育成に寄与している施設であるが、老朽化により児童の安全確保に支障を来している。

利用者の利便性・安全性を確保し、保育環境の向上を図るため、施設の改良・整備が必要である。

3 公共的施設の整備計画

令和 7 年度の 1 年間

(単位：千円)

施 設 名	区 分 事業主体	事 業 費	財 源 内 訳		一般財源のうち 辺地対策事業債の予定額
			特定財源	一般財源	
保育所 (庄原市立田森保育所)	庄原市	8,250	—	8,250	8,200
合	計	8,250	—	8,250	8,200